

研究課題：当院の小児に対する機械吻合術の検討

1. 研究の目的

当院で人工肛門閉鎖術や胆道再建術の際に、機械吻合術を施行した症例と施行していない症例を後方視的にまとめ、その手術手技や治療成績、術後合併症、術後経過などについて比較し検討します。小児では症例数の少ない機械吻合術の症例をまとめ、その手術手技や術後合併症について検討することで、機械吻合術の利点や欠点を解明することは重要です。

2. 研究の方法

2013年1月から2023年7月までに当科で人工肛門閉鎖術や胆道再建術を行った患者様（鎖肛、消化管穿孔、胆道閉鎖症、胆道拡張症などの疾患）を対象とし機械吻合術を行った症例と行っていない症例に分け、診療録や手術映像より臨床データ（性別、年齢、手術時間、出血量、在院日数、術後合併症、術後経過など）を比較し調査をします。

3. 研究期間

2023年9月（倫理委員会で承認を得られた日）から2026年3月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から、性別、身長や体重、手術年齢や術式、手術内容、および術後の経過と合併症を調べてまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、学会発表や論文として医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者：外科 科長 川嶋寛
研究分担者：外科 医長 近藤靖浩

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年1月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）